



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月10日

上場会社名 尾家産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7481 URL <https://www.oie.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 尾家 健太郎
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 畑中 則行 TEL 06-6375-0151(代表)
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	32,760	3.5	976	5.6	996	6.1	701	5.4
2026年3月期第1四半期	31,656	11.0	925	4.5	939	4.4	665	△15.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 763百万円(16.4%) 2026年3月期第1四半期 655百万円(5.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	84.53	—
2026年3月期第1四半期	80.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	40,206	17,277	43.0
2026年3月期	41,111	16,970	41.3

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 17,277百万円 2026年3月期 16,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	47.00	—	55.00	102.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	52.00	—	52.00	104.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	67,600	4.9	2,000	0.8	2,050	2.0	1,420	0.6	171.07
通期	136,800	5.8	4,090	7.2	4,210	8.7	2,860	1.9	344.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	9,255,000株	2026年3月期	9,255,000株
2027年3月期1Q	954,556株	2026年3月期	954,396株
2027年3月期1Q	8,300,494株	2026年3月期1Q	8,288,190株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、中東情勢の緊迫化やエネルギー価格の高止まり、円安による物価高の継続等により足踏み状態となりました。実質賃金は前年水準を上回ったものの、消費者の節約志向は依然続いています。インバウンド需要の恩恵を受ける産業や一部の大企業で好調を維持する一方、地方経済は厳しい状況にあり、中小企業でも仕入価格の高騰で利益が圧迫される等、景況感は企業や地域間で二極化しています。

当社グループの主要取引先であります外食産業では、売上は好調ではあるものの、食材、人件費及び物流費の急騰が利益を圧迫しています。ホテル等の宿泊施設についても、インバウンド需要が客室稼働率を上げる一方で、人手不足や客室単価上昇を背景に稼働率は頭打ち傾向となっています。

このような状況の下、当社グループは第6次中期経営計画の骨子である営業重点施策に営業資源を集中させるとともに、外食市場に対して確実に商品を確保し、適正な価格で提供させていただくことに注力いたしました。

2026年4月より、組織改革の一環として、新たに物流戦略部とヘルスケアフード推進部の2部署を立ち上げました。物流戦略部では、物流品質の維持向上、物流業務の効率化やコストダウンに取り組むとともに、ユーザー様への効率的な物流提案の企画立案等も行っております。ヘルスケアフード推進部は専任担当12名を本社、東京、名古屋に配置し、個別ユーザー様向けプレゼンテーションの開催、各ユーザー様の課題の把握と解決策の提案等きめ細かなフォローを行っております。ヘルスケアフード業態では、2026年5月から6月にかけて、病院や高齢者施設を対象にした「やさしいメニュー提案会」を大阪、鹿児島、東京、浜松、松江の5会場で開催し、計画を大幅に上回る1,000名以上のユーザー様に来場いただきました。「Smart」～簡単調理でおいしさそのまま～のテーマで、コストや人手不足、業務負担の増加といった現場のお悩みに寄り添い、栄養とおいしさを両立できる商品・メニューの提案、プレゼンテーションを行ったところ、多くの来場者から高い評価をいただきました。その結果、当第1四半期連結累計期間のヘルスケアフード業態の販売実績は前年同期比約110%と伸ばいたしました。

プライベートブランド商品（以下、PB商品）につきましては、4月に「サンホーム 杏仁豆腐の素 なめらかタイプ」、6月に「サンホーム ごろっと皮つき国産さつまいもサラダ」等新たに8品を発売し商品の拡充を図りました。特に「サンホーム いろいろ使えるたまねぎ旨ダレ」はさっぱりとした和風ダレながら、しっかりとしたコクもあり肉・魚・サラダ等素材を選ばずに使用できるため様々な業態への採用に繋がりました。これらの商品政策及び既存商品の取扱い促進に努めた結果、PB商品全体の売上は前年同期比107%の伸長となりました。

直営店舗では、前年に開始した店内調理による惣菜販売に続き、日用雑貨やご家庭でも使いやすい小規格商品の充実をはかる等、業務店のみならず一般のお客様も買いやすい店舗づくりを行ったことにより、多くのお客様にご来店いただき、前年同期比約106%の売上となりました。今後もお客様に楽しんでお買物をしていただけるよう、更に店舗販促を充実してまいります。

EC（電子商取引）ビジネスは、サンブラザ楽天市場店で取扱アイテムを約1,500品に拡大し、また5月にはサンブラザAmazon店をオープンしたところ、当第1四半期連結累計期間も好調に売上を伸ばし前年同期比約170%で推移しております。今後も販売アイテムの拡充に取組みながら、ECビジネスのさらなる拡大を図ります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高327億60百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益9億76百万円（前年同期比5.6%増）、経常利益9億96百万円（前年同期比6.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億1百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は402億6百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億4百万円の減少となりました。

主な要因は、商品が1億62百万円、建設仮勘定が1億7百万円増加した一方で、現金及び預金が3億89百万円、未収入金が8億円減少したことによります。

（負債）

負債は229億29百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億11百万円の減少となりました。

主な要因は、賞与引当金が5億2百万円、未払法人税等が5億63百万円減少したことによります。

（純資産）

純資産は172億77百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億6百万円の増加となりました。

主な要因は、利益剰余金が2億45百万円増加したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,894	7,504
受取手形及び売掛金	15,948	15,895
商品	3,867	4,029
未収入金	1,829	1,029
その他	79	155
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	29,614	28,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,888	10,898
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,932	△7,027
建物及び構築物（純額）	3,956	3,871
機械装置及び運搬具	457	469
減価償却累計額及び減損損失累計額	△394	△400
機械装置及び運搬具（純額）	63	69
工具、器具及び備品	597	714
減価償却累計額及び減損損失累計額	△417	△435
工具、器具及び備品（純額）	180	278
土地	2,324	2,324
建設仮勘定	10	118
有形固定資産合計	6,533	6,660
無形固定資産		
のれん	35	32
ソフトウェア	125	173
その他	27	27
無形固定資産合計	188	232
投資その他の資産		
投資有価証券	1,496	1,612
関係会社株式	95	95
退職給付に係る資産	297	300
差入保証金	2,039	2,086
繰延税金資産	739	509
その他	117	106
貸倒引当金	△11	△6
投資その他の資産合計	4,775	4,702
固定資産合計	11,496	11,596
資産合計	41,111	40,206

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,437	17,013
短期借入金	20	30
1年内返済予定の長期借入金	47	42
リース債務	63	93
未払金	395	392
未払費用	1,912	1,875
未払法人税等	688	124
賞与引当金	785	283
その他	157	312
流動負債合計	21,507	20,167
固定負債		
長期借入金	16	8
リース債務	155	275
役員退職慰労引当金	220	220
資産除去債務	779	781
退職給付に係る負債	1,314	1,329
その他	146	146
固定負債合計	2,633	2,761
負債合計	24,140	22,929
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,305	1,305
資本剰余金	1,247	1,247
利益剰余金	14,826	15,071
自己株式	△1,476	△1,476
株主資本合計	15,903	16,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	438	516
退職給付に係る調整累計額	629	611
その他の包括利益累計額合計	1,067	1,128
純資産合計	16,970	17,277
負債純資産合計	41,111	40,206

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	31,656	32,760
売上原価	25,795	26,627
売上総利益	5,860	6,133
販売費及び一般管理費	4,935	5,156
営業利益	925	976
営業外収益		
受取利息	0	4
受取配当金	6	6
受取賃貸料	2	2
雑収入	4	8
営業外収益合計	14	22
営業外費用		
支払利息	0	2
賃貸費用	0	—
雑損失	0	0
営業外費用合計	0	2
経常利益	939	996
税金等調整前四半期純利益	939	996
法人税、住民税及び事業税	72	94
法人税等調整額	201	200
法人税等合計	273	295
四半期純利益	665	701
親会社株主に帰属する四半期純利益	665	701

四半期連結包括利益計算書
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	665	701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	78
退職給付に係る調整額	△0	△17
その他の包括利益合計	△10	61
四半期包括利益	655	763
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	655	763
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントは「食品卸売事業」のみであり、「倉庫業」は重要性が乏しいため記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	131百万円	133百万円
のれんの償却額	2	2